

げんでんつるが

特別号
2014年2月
第26号

敦賀発電所では、さまざまな電源を用意し、万一の災害に備えています。

日本原子力発電株式会社

敦賀発電所では、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、二度とこのような事故を起さないよう、さまざまな安全対策を行ってまいりました。今号では、原子炉や使用済燃料プールの冷却等に必要な電源の対策についてお知らせします。

原子炉や使用済燃料プールの冷却等に必要な電源を増強しました

敦賀発電所では、送電線からの外部電源 (①) や 非常用ディーゼル発電機 (②) が使えなくなった場合でも、原子炉や使用済燃料プールを冷却することができるよう、さまざまな電源 (高压電源車の配備③、低压電源車の配備④、1, 2号機間の電力融通の強化⑤) を用意し、万一の災害にも電源が喪失しないよう対策を行っています。

福島事故前の状態

①送電線を通じて外部から受電します

※送電系統は1号用と2号用 (各2系統) があります

送電鉄塔



もし外部からの電源が
無くなった場合…

②所内非常用ディーゼル発電機が起動します

※非常用ディーゼル発電機は1号用と2号用 (各2台) があります



非常用ディーゼル発電機

もし非常用ディーゼル
発電機が起動しない場合…

福島事故後に追加した対策

③必要な電力を供給できる高压電源車を高台に配備



高压電源車 (電源容量: 1,825kVA×4台)

- 高電圧用の電源車は、津波の影響を受けない高台に配備しており、所内へ続く電源盤に電源ケーブルでつながれています。
- 中央制御室からの遠隔操作で起動し、すばやく電力を供給することができます。
- 発電の能力も、原子炉等の冷却に必要な電源容量を上回る発電容量があります。

④コンパクトで移動可能な低压電源車を高台に配備

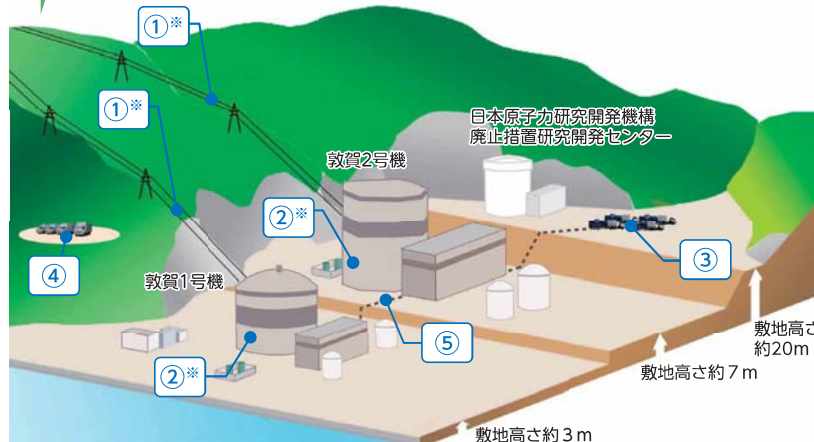


低压電源車 (電源容量: 500kVA×4台)

- 低電圧用の電源車は、津波の影響を受けない高台に配備しており、必要な場所へ移動して多目的な電源として使用します。
- 低電圧用の電源車と配電盤をつなぐためのケーブルを積んだ車両も配備しています。



ケーブルドラム車



⑤1, 2号機間の電力融通の強化

- 送電線や非常用ディーゼル発電機からの電力を1, 2号機間相互で確実に融通出来るよう、既存の電源ケーブルに加え、新たに別の電源ケーブルを敷設しました。

緊急時の対応訓練を繰り返し行っています

敦賀発電所では、万一の災害に備えて、さまざまな状況を想定した緊急時の対応訓練を繰り返し行っています。

電源ケーブルのつなぎ込み訓練



所内電源盤への電源ケーブルの引き回し



照明が無い状態を想定した電源ケーブルのつなぎ込み

高圧電源車の起動訓練



現場における高圧電源車の起動

中央制御室からの遠隔操作による高圧電源車の起動

低圧電源車の操作訓練

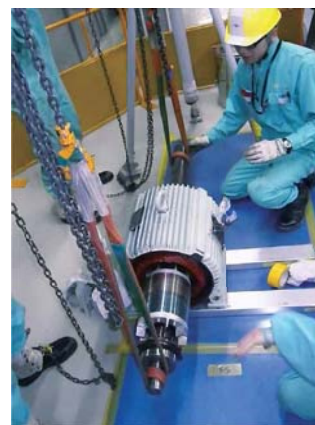


低圧電源車から配電盤への電源ケーブルのつなぎ込み

皆さまからのご質問にお答えします

～地域の皆さまから寄せられたご質問～

Q：発電所は、1号機も2号機も停止していますが、社員及び関連企業の人達はどんなことをしているのでしょうか？



電動機の分解点検の様子

A：敦賀発電所は、1号機、2号機共に停止しておりますが、発電所が停止していても、施設の安全を保つために、いろいろな規則などで求められている機器の点検や設備の巡視などの業務を行っています。

また、発電所敷地内の破砕帯調査や昨年7月に原子力規制委員会が施行した新規制基準で求められる各種安全強化対策の検討などの業務を行っています。

原子力規制委員会有識者会合による敦賀発電所敷地内破砕帯現地調査が行われました

原子力規制委員会の有識者総勢14名による敦賀発電所敷地内破砕帯現地調査が、1月20日、21日及び23日、24日の2回に分けて実施されました。

当社としては、今回の現地調査を踏まえて今後開かれる審議に真摯に対応していきます。



破砕帯の現地確認の様子



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713 (土日祝日を除く9時～17時)
敦賀発電所安全対策および敷地内破砕帯調査に係る情報については、当社ホームページにも掲載しています。 <http://www.japc.co.jp>